

---

# 令和3(2021)年度病虫害発生予察特殊報第2号

令和3(2021)年9月15日  
栃木県農業環境指導センター

---

## うめ及びももにおける *Singapora shinshana* (ヨコバイ科の一種) の発生について

1 害虫名 学名：*Singapora shinshana* (Matsumura, 1932) (和名なし)

2 発生植物名：うめ、もも

3 発生経過

令和3(2021)年8月、宇都宮市内のうめ及びももにおいて、葉が白化する被害(図1、2)が確認された。被害葉の裏面にはヨコバイ科の成幼虫及びその脱皮殻(図3、4)が認められた。被害樹からの採集個体を農林水産省横浜植物防疫所に同定依頼した結果、本県未発生のヨコバイ科の一種 *Singapora shinshana* と同定された。

4 被害の特徴

成虫、幼虫ともに葉を吸汁し、被害葉は白くカスリ状となる。食害が進行すると葉全体が白化し、落葉する。被害葉の裏面には幼虫の脱皮殻が多量に付着する。

5 形態

成虫の体長は3.0~3.5mm。体色は黄緑色(図5)、複眼は黒く、頭頂部に黒斑点を有する(図6)。

6 生態

本種の発生は中国、台湾、韓国、北朝鮮で確認されており、日本では沖縄県、和歌山県、徳島県、埼玉県、京都府、大阪府、岡山県、群馬県、滋賀県及び香川県の10府県において確認されている。本種はうめ、もも、なし、りんご、サンザシ、ポポー、ポプラ等を加害することが報告されている。

7 防除対策

現時点で本種に適用のある農薬はない。

本種の発生及び被害の早期発見に努め、被害が確認されたら速やかに寄生葉ごと除去し、適切に処分する。



図1 被害樹 (もも)



図2 被害葉表面 (うめ)

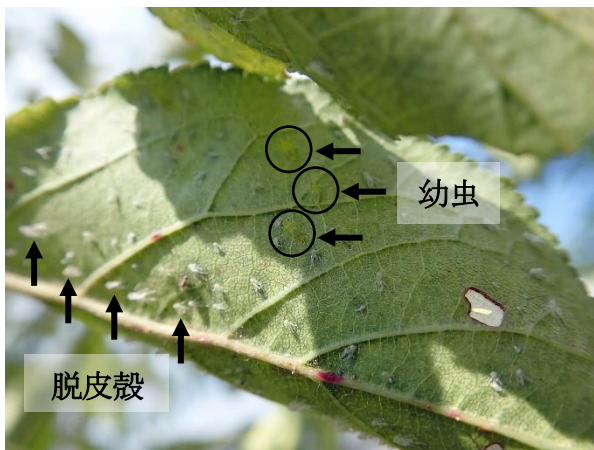


図3 被害葉裏面 (うめ)



図4 幼虫



図5 成虫

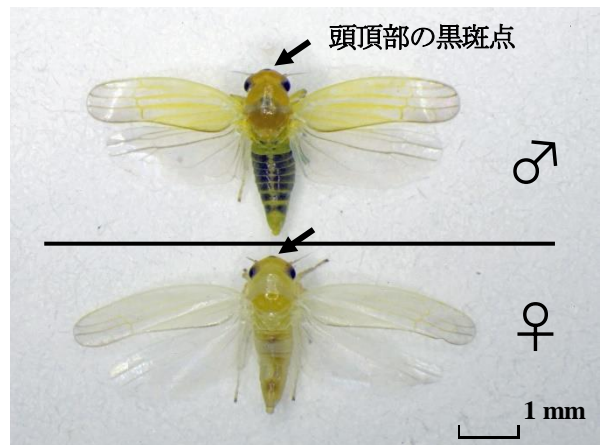


図6 成虫 (展翅)

詳細は、農業環境指導センター (Tel 028-626-3086) までお問合せ下さい。  
 病害虫情報発表のお知らせはツイッター「[栃木県農政部 \(@tochigi\\_nousei\)](#)」、  
 農業環境指導センターホームページ (<http://www.jpnp.ne.jp/tochigi/index.html>) でもご覧になれます。